

新たな見どころ



■ より分かりやすく、系統的になった台南園區の道路標識システム



■ バリアフリー化が進み、人に優しい南科

案内標識が分かりやすく

9月17日、台南園區の案内標識の改善工事が行われ、標識がより分かりやすいデザインになったほか、重要な地名や見どころなどの情報と道路標識システムが一元化されました。二か国語表記で見やすい、南科らしい案内標識となっています。

バリアフリー度評価で「優等」に

バリアフリー化への積極的な取り組みが認められ、11月28日、南科は内政部營建署が行ったバリアフリー度評価で「優等」を獲得しました。

給水塔が模様替え

高雄園區の省道台1号線に面した給水塔が、台湾の国鳥「ヤマムスメ」をモチーフにしたアートになりました。給水塔をぐるりと巻いたリボンは絶えず進化し続けるテクノロジーの象徴。また、鳥の造形は「良禽は木を選ぶ」の格言の通り、園區が優れた投資環境を整えることで優良企業の進出を促したいという願いが込められています。



■ 高雄園區給水塔

緑爽やか 広場が装い新たに

これまで四季、年輪、クロ(小黑)など多彩な公共芸術が目を楽しませてきた台南園区行政棟前広場ですが、2014年末に緑化工事が行われ、数十本の木と芝生が植えられました。木陰にはベンチも置かれ、南科を訪れたビジネス客や観光客が一休みするのに絶好の休憩場所となっています。



■ 台南園区行政棟前広場が緑豊かに